

はちのへ 市議会だより

平成14年12月定例会

No.37

編集と発行・八戸市議会 八戸市内丸1丁目1-1 ☎43-2111 内407 2003年(平成15年)2月1日発行



開催に向け、概要説明会のため議場に集まった各中学校の生徒



市議会の役割や仕組みについて説明を受ける各中学校の生徒

「中学生21世紀議会」が開催されます

平成十五年二月十二日(水)八戸市議会議場で、中学生を対象に市議会を体験し、市政および市議会に対する関心と理解を深めるため、「中学生21世紀議会」が開催されます。

平成十四年十二月十六日(月)に、各中学校の生徒が市議会に集まり、開催に向けての概要説明会と市長との懇談会が行われました。

平成14年12月定例会は、12月3日から12月17日まで、15日間の会期で開き、平成14年度一般会計補正予算など市長提出議案35件、議員提出議案3件を審議し、全議案を可決して閉会しました。

なお、一般会計の補正予算額は、4億9,051万9千円で、補正後の予算額は、792億9,535万9千円です。

市政に対する 一般質問

市町村合併や財政、教育行政など、154項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。(今定例会では、会派を代表して質問する代表質問がありました)

質問した議員
大館 恒夫
田名部 和義
松橋 美知
岩織 政美
山名 悦世
近藤 文夫
寺地 則行
山田 哲雄
畑中 幸哉
上条 幸雄
前澤 一時
大島 正男
山内 孝博
伊藤 博子
藤原 博子
(質問順)

三十万都市に向けた方策は

市民政友会代表

【問い】 中核市指定の要件である人口三十万都市実現に向けた方策は。

【答え】 平成十三年に当市と階上町、福地村、南郷村と立ち上げた任意の合併協議会は、平成十四年四月から、名川町、南部町、田子町を加えた七市町村に枠組みが広がり、これに加えて、新郷村から法定協議会からの合併協議に参加の申し入れがあった。

しかし、新郷村を加えた八市町村が仮に合併しても、人口は約二

十九万七千人と、中核市指定の要件である三十万人をクリアできない状況である。

中核市の指定を受けると様々な権限が委譲され、地方分権の一層の進展が可能となることから、今後とも、関係町村の動きを見守っていききたい。

縄文の里整備構想の実現を

新政・公明・近未来クラブ代表

【問い】 観光資源としては川縄文の里整備構想の実現に向けた、今後の取り組みはどうか。

【答え】 是川遺跡は、学術的に貴

重なだけでなく、出土した遺物が縄文工芸の最高水準を示すものであり、観光資源としても潜在的価値を秘めている。

市民や研究者の関心は非常に高まってきており、発掘調査報告会参加者へのアンケートでは、新たな展示施設建設や遺跡の早期整備等の要望や期待が寄せられている。東北新幹線八戸駅開業を好機ととらえ、全国に売り出す施策の展開は、重要な課題と認識している。平成十五年度に文化庁の指導を得ながら、縄文の里の整備を検討する組織を設置し、展示施設あり方も含めた、整備計画の方向性を出していききたい。



縄文学習館

引きこもり対策の

連絡協議会設置を

社民党・市民連合代表

【問い】 引きこもりに対する専門

的な対策を検討する連絡協議会を設置する考えはないか。

【答え】 県立精神保健福祉センターでは、保健所、福祉事務所、児童相談所、教育センター、市町村、医療機関を対象に、思春期・青年期における「社会的引きこもりに関するアンケート調査」を実施しており、その結果を踏まえ、平成十五年度に事例検討を行い、ネットワークの構築に向けて検討することとしている。

市では、国・県の今後の動向を見ながら、連絡協議会の設置に向けて検討していききたい。

市民病院建設疑惑への

市長の認識は

日本共産党議員団代表

【問い】 国会審議での市民病院建設に関する疑惑について、市長はどのように受けとめているか。また、疑惑解明についての考えは。

【答え】 農林水産大臣の前秘書官をめぐる公共工事口利き疑惑について、週刊誌や新聞紙上で報道されているが、衆議院予算委員会等で農林水産大臣は、この疑惑を否定していることから、今後の対応

を見守っていききたい。

また、疑惑の解明については、「八戸市立市民病院移転新築工事等調査委員会」を設置したところであり、今後、建設工事に関する入札・契約などの事務が適正に行われたかどうかを調査していききたい。

高齢者福祉事業

生きがい対策事業の充実を

社民党・市民連合

【問い】 市単独事業の生きがい対策事業の充実が必要と思うがどうか。

【答え】 高齢者福祉事業での市単独事業は、高齢者特別乗車証支給事業および敬老祝金支給事業のほかに十一事業ある。

単独事業費が減った例では、敬老祝金支給事業があるが、廃止した自治体が多くなってきており、見直しによる減額分は、家族介護慰労事業、生活支援ハウス事業の実施に充てており、今後、これらの事業の拡充に努め、高齢者が健康で生き生きと暮らせるよう、社会参加促進等の施策に取り組んでいききたい。

男女共同参画に向けた 事業の推進を

市民政友会

【問い】 男女共同参画に向けた事業を、今後どのように推進していく考えか。

【答え】 男女共同参画社会の必要性が理解されるよう、情報誌の充実や出前講座を実施していきたい。

また、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大、男女平等を推進する教育、雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保、仕事と家庭の両立支援、配偶者への暴力等防止のための事業等に取り組み、男女一人一人が、生き生きと暮らすことのできる男女共同参画宣言都市となるよう努力していきたい。



市庁前にある「男女共同参画宣言都市」の看板

一般廃棄物最終処分場

建設に向けた取り組みは

新政・公明・近未来クラブ

【問い】 一般廃棄物最終処分場建

設に向けた取り組みと、今後の対応をどのように考えているか。

【答え】 市では、平成十三年六月に基本構想を策定、同年八月に周辺住民に対する説明会を開催した。平成十三年十二月には、八戸清掃工場等の施設見学を実施、平成十四年二月と四月には、群馬県榛名町「エコパーク榛名」等の視察を実施した。

視察後の報告会出席者からは、処分場の必要性は理解しているが、地元への立地には反対との意見が大勢を占め、大変厳しい状況にあると認識している。

新処分場は、市民生活に必要な不可欠であり、地権者や周辺住民の理解が得られるよう、粘り強く努力していきたい。

長根運動公園整備の

取り組みは

新政・公明・近未来クラブ

【問い】 長根運動公園の将来構想への取り組みはどうか。

【答え】 平成十四年二月に、学識経験者、経済団体代表者、体育・スポーツ関係者で組織する「長根運動公園検討会」を設置し、長根公園の体育施設の今後のあり方に

ついて意見をいただいております。その意見を参考に、既存施設の維持管理に努めながら、総合的に検討していきたい。



長根運動公園

就学援助制度の

基準引き上げを

日本共産党議員団

【問い】 就学援助制度の認定基準を引き上げて、援助を拡充する考えはないか。

【答え】 就学困難な経済的事情は、所得額のみで一律にはかれるものではなく、一定の所得額の基準を設定し、画一的に認定することは好ましくないとされている。

市では、保護者の経済状況のほか、児童生徒の日常の生活状況や家庭の諸事情を総合的に判断し弾力的に対応している。援助の拡充について、国等の動向を見ながら、研究していきたい。

市営住宅への多子世帯の 優先入居制度の検討を

市民政友会

【問い】 十八歳未満の子どもを三人以上持つ家庭が、市営住宅へ優先的に入居できる制度を検討する考えはないか。

【答え】 市営住宅への入居者の選考方法の見直し作業を進めており、母子世帯や高齢者世帯ならびに障害者世帯については、優先入居の対象として考慮している。

また、子育て支援の観点から、十八歳未満の子どもを三人以上持つ多子世帯についても、対象としなければならぬと考えている。

平成十四年度中に選考基準の原案を作成し、平成十五年度に八戸市営住宅審議会に諮問し、待機者等の状況を見ながら早期に実施したいと考えている。

新幹線開業の

景気浮揚効果は

新政・公明・近未来クラブ

【問い】 新幹線八戸開業による景気浮揚効果をどのようにとらえ、また、今後の景気浮揚策をどのように考えているか。

【答え】 新幹線開業は、市の経済

環境への効果を与えると考えており、新商品の開発が活発になるなどの新たな試みや、ターミナル駅の優位性による知名度の向上、地場産品の消費拡大が期待される。

また、観光を産業ととらえ、景気浮揚を図っていきたくと考えており、例えば、観光バス運行や観光タクシーのサービス充実などによる拠点性強化や、地域の魅力づくりが大切な要素であり、屋台村や湊地区の朝市のような取り組みは、当市の魅力をアピールするひとつであると考えている。

地域外との経済交流を活性化させるコンベンションの誘致も、積極的に行っていきたい。

新幹線開業効果を引き出すため、市民、企業、行政等が力を合わせ、市の活性化を進めていきたい。



八戸駅東口広場

八戸ニュータウンから 流出する雨水対策は

社民党・市民連合

【問い】 八戸ニュータウンから周辺地域へ流出する、雨水の対策をどのように考えているか。

【答え】 八戸ニュータウン区域内の雨水対策は、流末にあたる東調整池、雨水管の整備を進め、ニュータウン内の雨水排水施設の整備が完了している。

一方、平成十四年の台風の影響による大雨で、根城字内沢の民地にある擁壁が倒壊し、民家の一部が被害を受けた。

大雨による災害について、地元町内会や周辺住民の意見を聞き、個別に必要な対策を講じていきたい。

雇用創出事業の

積極的な取り組みを

新政・公明・近未来クラブ

【問い】 緊急地域雇用創出特別交付金事業の内容を伺いたい。

また、市単独の雇用創出事業に積極的に取り組むべきと思うかどうか。

【答え】 平成十四年度の緊急地域



雇用創出特別交付金事業は、事業費が二億千七百九十九万三千円で、遺跡の発掘調査事業、環境美化事業等の二十五事業での新規雇用・就業者数は、二百十六人、延べ一万四千六百六十人を見込んでいる。

市単独の雇用創出事業としては、八戸市新規高等学校卒業生雇用奨励金を創設したほか、八戸市障害者・高齢者等雇用奨励金の増額等、制度内容の拡充を図った。

今後とも、雇用の確保が図られるよう、関係機関との連携に努め、一層努力していきたい。

スポーツ振興基金の設立を

新政・公明・近未来クラブ

【問い】 スポーツ活動を支援するため、スポーツ振興基金を設立する考えはないか。

【答え】 現在の超低金利の金融状

況で、積立金の利子による運用を図るには、基金の設立に多額の原資が必要な状況にある。

しかし、民間からの寄付金を活用してのスポーツ振興は、市民のスポーツに対する士気の高揚に有効と考えられるので、基金の設立について検討していきたい。

道路整備事業の

客観的評価基準を

諸派

【問い】 道路整備の客観的評価基準により、工事実施箇所を決定し採択すべきと思うかどうか。

【答え】 市では、地域からの要望と、道路パトロールにより現地調査を行い、その結果を踏まえ、緊急性の高い箇所は、優先的に舗装補修することとしている。

舗装の老朽化や冬期の凍上等による損傷、全面的な補修が必要と思われる路線は、年次計画で補修することとし、生活道路の整備は、町内会等から整備要望があった場合、交通量・歩行者の安全確保・利用度など総合的に判断して順次整備している。

今後、先進地の事例を勉強していきたい。

新たな条例

八戸市の議会議員及び長の選挙における選挙公報の発行に関する条例
八戸市法定外公共物管理条例

意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁へ提出しました。

WTO農業交渉等に関する意見書
青森労災病院の存続と機能の充実を求める意見書
基礎年金の制度基盤の安定化を求める意見書

請願・陳情の

審査結果

継続して審査するもの
有事法制に反対する陳情

取り下げとなったもの

国民健康保険税減免取扱要綱改正を求める陳情
年金制度を改善し、安心してくらする老後の保障を国に求める意見書採択の陳情

本会議を

傍聴しましょう



本会議は、住所と名前を書くだけで傍聴することができます。

また、車いすを利用されている方は、本館三階議会でもテレビ視聴できます。

今定例会は、九十四人の傍聴がありました。

次の定例会は、三月に開かれる予定です。



はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。